

県人会

拓大・福田理事長が 新春懇話会で講演

東京青森県人会

東京青森県人会（佐藤英明会長）は29日、都内のホテルで「新春みちのく懇話会」を開いた。藤崎町出身で拓殖大学理事長の福田勝幸さん（73）が講演し、自らの人生や今後の大学の在り方について語った。

福田さんは東奥義塾高校を卒業後、進学の夢をかな

えるため新聞奨学生となって上京し、拓殖大で学んだ青春時代を回顧。卒業後に十勝沖地震が起きた際には、大学の後輩らと本県で救援活動をしたエピソードも披露した。その上で「拓



自らの生い立ちや今後の大学の在り方について語る福田理事長

殖大ではこのボランティア気風がよく引き継がれている」と語り、今の学生も東日本大震災の復興支援に当たっていることを紹介した。

一方、少子化による若年人口の減少は「大学だけでなく日本全体の問題」と指摘。「若い人たちがこの問題に対処し、たくましく生きていけるようにするのが、われわれの仕事」と語り、引き続き人材育成に当たっていく決意を示した。

（藤本耕一郎）